

野生生物保護学会 2008 年度大会

# プログラム

会期：2008 年 11 月 7 日（金）～9 日（日）

会場：アルカス佐世保・長崎国際大学

事務局：野生生物保護学会 2008 年度大会

開催実行委員会

第14回 野生生物保護学会大会 日程表

	会場	時間													
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
11/7(金)	アルカス佐世保小会議室							学会理事会							
	山澄地区公民館講堂							鳥獣対策研修会:長崎県主催							
11/8(土)		事務局控え室					事務局控え室								
	合同講義室 4101教室	準備	口頭発表	総会	昼食	口頭発表									
	T6101教室					TS-2	TS-3								
	T6102教室		TS-1			TS-4									
	T6103教室		CF・GF総会			TS-5									
	ラウンジ		ポスター発表			CT	ポスター発表								
	長崎国際大学 食堂棟											懇親会			
			事務局控え室					事務局控え室							
	合同講義室 4101教室		公開シンポジウム		昼食	口頭発表									
	T6101教室			TS-6											
	T6102教室			TS-7											
	ラウンジ		ポスター発表	CT		ポスター発表	撤去								
								エクスカージョン							

CT:コアタイム. 発表者がポスターの前に立って説明する時間.

CF: 第3回 コミュニケーション・フォーラム ~野生生物保護を仕事にした人, したい人~

TS-1:オオカミの復活を探る-Yes, No, それぞれの立場から-

TS-2:行政研究部会 第1回総会・研究集会 ~学会における行政と科学の協働をめざして

TS-3:21世紀の狩猟学4 狩猟者の人口構造の変化と狩猟政策の新たな動き

TS-4:風力発電が生態系、野生生物、人体に及ぼす影響とその規制

TS-5:「野生生物と交通」に関する話題~様々な生物の角度から

TS-6: 九十九島のカブトガニとエコツーリズム

TS-7:2010年生物多様性条約締約国会議と生物多様性基本法

# 大会に参加される方へのご案内

## 1. 会場および受付

- (1) 11月7日の会場はアルカス佐世保です。この日の大会主催行事は理事会のみですので、受付は行いません。
- (2) 11月8、9日の会場は、長崎国際大学薬学棟1階および教育棟4号館1階です。登録受け付けは、両日とも8:30より薬学棟入り口にて行います。参加申し込み済みの方は、参加受付用紙に宿泊先を記入の上（コンベンション助成金を受けるために必要です。ご協力願います）、講演要旨集・名札などをお受け取り下さい。当日申し込みの方は参加費等をお支払い下さい。
- (3) 大会会場では名札を必ず着用願います。着用されていない場合にはスタッフが確認させて頂くことがあります。
- (4) 総会は11月8日 11:00より12:00まで教育棟4号館 合同講義室4101教室で開催します。

## 2. 昼食について

- (1) 11月8、9日は、長崎国際大学の学生食堂が利用できます。ただし、11月8日については学生食堂の2階のみをご利用願います。
- (2) その他の飲食店は、大学HP（[http://www1.niu.ac.jp/accessmap/accessmap\\_1.htm](http://www1.niu.ac.jp/accessmap/accessmap_1.htm)）を参照願います。

## 3. 懇親会について

- (1) 懇親会は11月8日 17:30から学生食堂で開催します。
- (2) 車を運転される方は、絶対に飲酒しないで下さい。



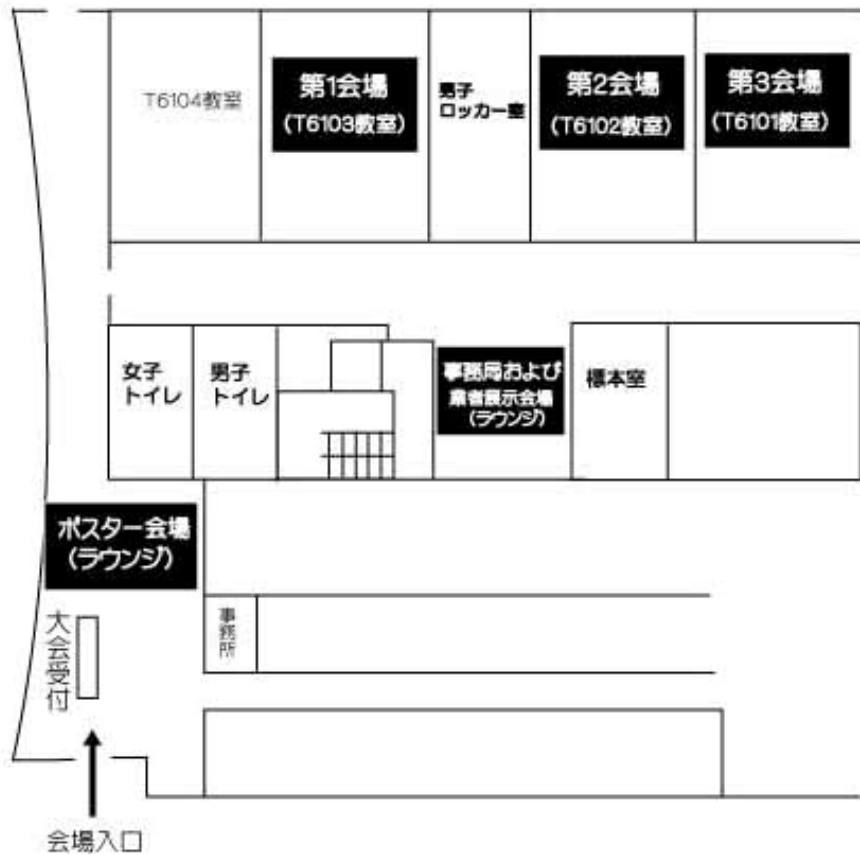
# 大会会場見取り図

会場：長崎国際大学（11月8日・9日）

< 教室棟4号館(1階) >



< 薬学研究棟(1階) >



#### 4. 会場の周辺マップ



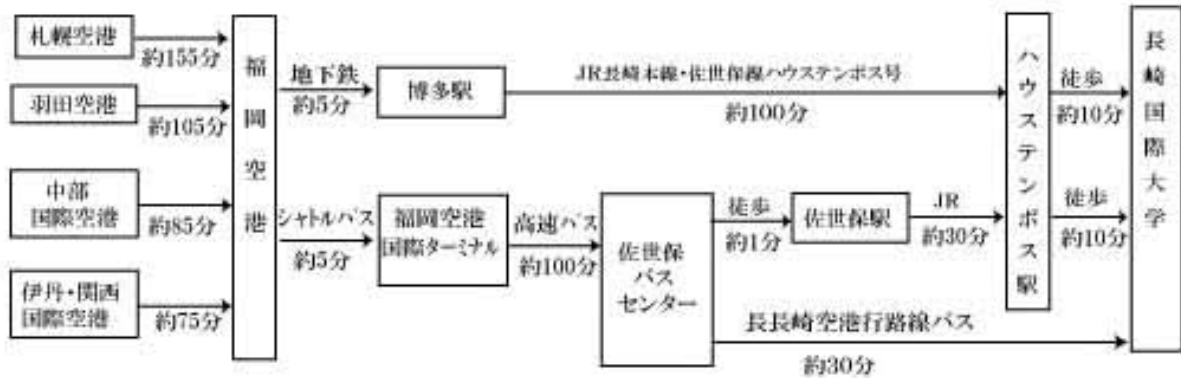
## 5. 会場までの交通アクセス

- (1) 長崎空港から佐世保までの船を利用する場合、運賃とは別にハウステンボス入場料が必要になりますのでご注意ください。

### <長崎国際大学(会場)までの交通のご案内>

#### 【 航空機・高速バス等をご利用の場合】

##### 《 福岡空港から 》



##### 《 長崎空港から 》



##### 《 新幹線等をご利用の場合 》



##### 《 マイカーをご利用の場合 》

大学の敷地内に、学生用の駐車場（無料）がありますのでご利用ください。但し、数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

## 発表要領

### 1. 口頭発表

- (1) 発表時間は質疑応答を含めて14分30秒です。延長は一切認めません。
- (2) 会場では液晶プロジェクターが使用できます。
- (3) 当日は「ウィンドウズXP」搭載ノートパソコン（Celeron 1.6 GHz, 480 MB RAM）および「パワーポイント 2002」を使用する予定です。発表用のパワーポイントファイルは、これらの環境で問題なく動作するよう設定をお願いします。
- (4) 発表用のパワーポイントファイルは、発表前の休憩時間に指定のパソコンにインストールして下さい。
- (5) 各演者は次の発表の座長を務めて頂きます。発表終了後、指定の位置に着席して速やかに会を進行させて下さい。最初の演題は大会開催実行委員会が座長を担当します。

### 2. ポスター発表

- (1) ポスターのサイズは「A0（幅841mm, 長さ1189mm）」以内です。
- (2) ポスターの掲示は11月8日9:00から11:00の間に実施して下さい。ポスター貼り付けに必要な粘着ジェルを大会開催実行委員会が準備致します。
- (3) 11月8日, 9日12:00～13:00にコアタイム（集中時間）を設けています。コアタイム中につきましても、ポスター発表者は常時会場に待機して下さい。
- (4) ポスターには「演題」, 「発表者氏名」, および「所属」を記載して下さい。
- (5) ポスターは11月9日15:00～16:00に撤去願います。
- (6) 一部の方には口頭発表に移って頂く可能性があることをお伝えしておりましたが、今回は問題なくポスター発表できる運びになりました。ご心配をかけ申し訳ありませんでした。

### 2. テーマセッションおよびコミュニケーションフォーラム

- (1) テーマセッションおよびコミュニケーションフォーラムは、自主運営でお願い致します。各会場に備え付けのプロジェクターがあります。その他の機材の持ち込みや準備、操作、セッションの進行、後かたづけは、企画責任者の方を中心に実施願います。

野生生物保護学会第14回(長崎)大会  
公開シンポジウム(無料)

## 「ツシマヤマネコの過去・現在・未来」

### 1. 趣旨

ツシマヤマネコは典型的な里地里山の哺乳類であり、保護活動に多くの主体が参加しているのが特徴であり、今後の日本の里地里山における野生動物保護のモデルとなる可能性を秘めている。多くの参加者にツシマヤマネコの保護活動の最前線を、基調講演、対馬で実際に活動しているパネリストからの情報提供を通して理解・実感していただき、今後の保護活動について検討する。

### 2. 日時

11月9日(日)9:00～11:30(開場 8:30～)

### 3. 場所

長崎国際大学 合同講義室 4101 教室

### 4. プログラム

■開会あいさつ 9:00

■基調講演 9:05～9:40, 9:45～10:20(講演 30分, 質疑応答 5分)

「ツシマヤマネコの生態と個体群の推移(仮題)」

中島絵里(自然環境研究センター上席研究員)

「ツシマヤマネコの保護活動(仮題)」

佐々木真二郎(環境省対馬自然保護官)

■休憩 10:20～10:25

■パネルディスカッション 10:25～11:10

コーディネーター:羽山 伸一(日本獣医生命科学大学野生動物教育研究機構長)

パネリスト(五十音順):

中島絵里(自然環境研究センター上席研究員)

玖須博一(対馬市総務企画部地域振興課)

小寺祐二(長崎県農林部農政課 鳥獣対策専門員)

小林和夫(井の頭自然文化園副園長)

佐々木真二郎(環境省対馬自然保護官)

藤原新一(NPO 法人どうぶつたちの病院理事)

■総合討論 11:10～11:30



## 口頭発表プログラム

### 11月8日(土) 午前

- O-01 09:00～ **絶滅危惧 I 類シルビアシジミの幼虫行動に関する若干の生態的知見**  
渡辺 通人・小俣 和彦・宮下 泰典
- O-02 09:15～ **林相と斜面の位置の違いに対するミミズの環境選択性**  
小沼 聡美・須田 知樹
- O-03 09:30～ **中部大学恵那キャンパスのアカネズミにおける木本相に注目したハビタット解析**  
久保 壮史・大畑 直史・寺井 久慈・南 基泰・上野 薫
- O-04 09:45～ **栃木県奥日光の落葉広葉樹林内におけるハタネズミの生息地選択**  
森田 淳一・須田 知樹
- O-05 10:00～ **「地域の象徴」として受け入れられるトキ放鳥**  
本田 裕子
- O-06 10:15～ **ヤンバルクイナの道路出現状況とその要因に関する調査**  
江藤 奈穂子・倉持 有希
- O-08 10:30～ **CCD カメラを用いたクマタカの保全対策実施事例**  
長野 紀章・野口 将之・鈴木 荘司・紀國 聡・風間 基義
- O-07 10:45～ **イリオモテヤマネコの交通事故数の統計学的分析**  
大坂 元久

### 11月8日(土) 午後

- O-09 13:00～ **知床半島に生息するオショロコマ個体群と温度生息域**  
谷口 義則・河口 洋一
- O-10 13:15～ **岩手県奥州市胆沢区におけるアカヒレタビラとタイリクバラタナゴの分布状況**  
土井 真樹絵・角田 裕志・満尾 世志人・大平 充・西田 一也・千賀 裕太郎
- O-11 13:30～ **周辺の土地利用がイトウ繁殖河川の河床に与える影響**  
笠井 文考・小宮山 英重・金子 正美
- O-12 13:45～ **ため池内の魚類相に影響をおよぼす要因**  
満尾 世志人・角田 裕志・大平 充・千賀 裕太郎
- O-13 14:00～ **小河川上流域における在来種アブラハヤに及ぼす国内移入種カワムツの影響**  
大平 充・満尾世志人・土井 真樹絵・角田 裕志・千賀 裕太郎
- O-14 14:15～ **ため池における外来魚オオクチバスが在来魚類に与える影響の差異**  
角田 裕志・満尾 世志人・大平 充・土井 真樹絵・千賀 裕太郎
- O-15 14:30～ **スマトラ島中部におけるほ乳類 26 種生息状況モニタリングの試み**  
渡邊 邦夫・三谷 雅純・リザルディ・サンティ N カミラ
- O-16 14:45～ **アフリカにおけるスポーツハンティングが内包する問題 —「持続可能性」と地域住民—**  
安田 章人
- O-17 15:00～ **モンゴル・フスタイ国立公園の家畜放牧が齧歯類に与える影響**  
須田 知樹・森田 淳一・Badamjavın Lhagvasuren・高槻 成紀
- O-18 15:15～ **ケニアにおける人々と野生動物の関係, ナイロビ動物孤児院の事例**  
山根 裕美
- O-19 15:30～ **島根県におけるツキノワグマ捕獲個体のモニタリング調査**  
澤田 誠吾・金森 弘樹・竹下 幸広
- O-20 15:45～ **ツキノワグマ生息地におけるコナラ堅果のデンプン構成**  
時田 昇臣・宮田 沙希・名切 幸枝・小池 伸介・永井 知佳・有本 勲

- O-21 16:00～ 兵庫県におけるツキノワグマの出没パターンと学習放獣の効果  
横山 真弓・森光 由樹・稲葉 一明
- O-22 16:15～ 特定外来生物(アライグマ, アメリカミンク)に対する住民の意識  
福江 佑子・葦田 恵美子
- O-23 16:30～ 北海道におけるアライグマの個体群モニタリングと対策の評価  
池田 透・阿部 豪
- O-24 16:45～ 九州西方海域におけるウミガメ類の生態と保護  
亀崎 直樹・武内 有加・中島 悠介・宮内 叶
- O-30 17:00～ 地域社会との協働によるエゾシカ保護管理の在り方ー阿寒の有効活用の事例  
今榮 博司

### 11月9日(日) 午後

- O-25 13:00～ 学校ビオトープの飛翔昆虫出現に関する GIS を用いた空間的特性の評価  
横溝 了一・千賀 裕太郎
- O-26 13:15～ 谷津景観における自然再生の野生動植物保全に対する意義  
原 慶太郎・ケビン ショート・高橋 一之・畔田谷津ワークショップ
- O-27 13:30～ 里山の管理条件の違いによる土壌動物群集の構成  
森田 俊嗣・須田 知樹・平野 正人
- O-28 13:45～ 農作物被害を引き起こす野生ニホンザルの環境選択  
遠藤 美香・鈴木 克哉・室山 泰之
- O-29 14:00～ 積雪期の足跡カウントによる中・大型哺乳類の生息分布構造の推定  
江成 広斗・坂牧 はるか
- O-31 14:15～ 石川県におけるイノシシの分布  
小川 弘司・野崎 英吉
- O-32 14:30～ 富山県産イノシシの個体群の現状と寄生蠕虫感染状況(続報)  
横畑 泰志・寺口 知子・安田 暁・宇仁 茂彦
- O-33 14:45～ 島根県に生息するニホンイノシシの食性の季節的経年的変化  
芝崎 亜季子・小寺 祐二・須田 知樹
- O-34 15:00～ Zigbeeを用いた野生動物農業被害防除システムの検討  
伊吾田 宏正・鈴木 透・松浦 友紀子・金子 正美・星野 仏方・吉田 剛司
- O-35 15:15～ 長浜市郊外の集落における獣害に関する住民意識とその対策への影響  
藤居 千晶・服部 昭尚・野間 直彦
- O-36 15:30～ 広域獣害防止柵の維持管理と地域住民の意識  
藤田 和宏・鉄谷 龍之・安藤 元一・小川 博・天野 卓

## ポスター発表プログラム

11月8日(土) 9:00~17:30

11月9日(日) 9:00~16:00

ただし、9日(日)は15:00~16:00の間が撤去時間です。

両日とも12:00~13:00がコアタイムです。

- P-01 **ツキノワグマによるスギ樹皮剥皮の要因**  
小金澤 正昭
- P-02 **四国剣山山系におけるツキノワグマ個体数推定の課題**  
金澤 文吾・草刈 秀紀・大西 尚樹・八束 翔・村上 賢
- P-03 **シカの生息密度が常緑広葉樹林の健全性に及ぼす影響**  
早坂 大亮・榎木 淳子・前田 宣雄・江頭 信一・小寺 祐二
- P-04 **ニホンジカの高密度化が鳥類群集に与える影響**  
奥田 圭・小金澤 正昭
- P-05 **特定鳥獣保護管理計画における個体群管理の課題**  
常田 邦彦・米田 政明・黒崎 敏文
- P-06 **三次元可視化法を用いたヤギによる魚釣島の生態系変化の観察**  
横畑 泰志・横田 昌嗣・星野 仏方・金子 正美・小野 貴司・南澤 舞
- P-07 **アライグマの低密度地域における効果的な分布調査手法について**  
關 義和・六波羅 聡・河内 紀浩・小金澤 正昭
- P-08 **山梨県西湖及び精進湖の魚類相:国内外来魚類の侵入状況について**  
角田 裕志・満尾 世志人・大平 充・土井真樹絵・千賀 裕太郎
- P-09 **奥日光のノイヌはシカを捕食しているのか?**  
大谷 道生・小金澤 正昭
- P-10 **GPS携帯による移動データに基づいたタヌキの環境選択と地図化**  
竹内 亨・松木 吏弓・阿部 聖哉・梨本 真
- P-11 **導入イタチに対する三宅島2000年噴火後の住民の意識**  
上杉 哲雄・山本 裕
- P-12 **獣害に対する地域住民の複雑な被害認識と問題化プロセス**  
鈴木 克哉
- P-13 **野生動物の生息場所としての樹洞の形態的特徴**  
上山 剛司・林田 光祐
- P-14 **エゾモモンガによる巣の利用**  
東城 里絵・原口 墨華・浅利 裕伸・柳川 久
- P-15 **アマミノクロウサギの死体情報の分析と保護への取り組み**  
永井 弓子・迫田 拓・鏝 雅哉
- P-16 **群馬県南西部地域における野生ニホンザル群の集落環境利用**  
坂口 裕佳・竹田 謙一・羽山 伸一
- P-17 **伊豆諸島におけるスダジイ巨樹とその着生植物の保全**  
仲山 真希子・上條 隆志・平田 晶子
- P-18 **岩手県内間木洞で観察されたノラネコによるコウモリ類の捕食**  
向山 満
- P-19 **コウモリ類によるボックスカルバートの利用について**  
石塚 正仁・谷崎 美由記・東谷 和徳・矢野 幹也・石井 健太・柳川 久

- P-20 **厚岸の観察ツアーがゼニガタアザラシ(*Phoca vitulina stejnegeri*)に与える影響**  
刈屋 達也・星野 悠美・堤 さやか・小林 由美・熊崎 農夫博・加藤 裕之
- P-21 **風車騒音, 超・低周波音曝露による健康被害**  
覚張 進・丸山 直樹
- P-22 **対馬での3年間の海鳥油汚染被害報告と今後の課題**  
大谷 雄一郎・川口 誠・山本 英恵・前田 剛・茂木 周作・上山 剛司・佐々木 真二郎・村山 晶



野生生物保護学会 2008 年度大会プログラム

野生生物保護学会 2008 年度大会 開催実行委員会